

1月 給食だより



令和6年 1月 1日
石狩市学校給食センター
TEL: 62-8015
FAX: 72-2223

今月の給食目標



「給食の歴史を知ろう」

学校給食はいつ、どのようにしてはじまったのでしょうか。始まりから現在に至るまでについて考えてみましょう。



1月24日～30日は「全国学校給食週間」とされています。学校給食の意義や役割について知り、充実と発展を図ることを目的に定められました。学校給食の歴史や毎日の給食について、ご家庭で話題にしていいただければと思います。



学校給食の歴史



学校給食は明治22年、山形県鶴岡市の忠愛小学校でお弁当を持ってこれない児童のために始まりました。その後、給食は全国に広まりましたが、戦争で一時中止になり、昭和21年12月24日に一部の地域から順に再開しました。12月24日は冬休みに入るため、1か月後の1月24日から1週間を「全国学校給食週間」としました。

現在の学校給食は、子どもたちに食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけ健康的な食生活を送るためのものとして、とても重要な役割を果たしています。

明治22年	昭和22年	昭和27年	昭和52年	現在
<ul style="list-style-type: none">おにぎり焼き魚漬物	<ul style="list-style-type: none">ミルク（脱脂粉乳）トマトシチュー	<ul style="list-style-type: none">コッペパンミルク（脱脂粉乳）クジラの竜田揚げサラダ など	<ul style="list-style-type: none">カレーライス牛乳果物サラダ など	<p>様々な料理を組み合わせ、栄養はもちろん、地場産物や食文化も学べる給食になっています。</p>

石狩市の給食

石狩市の給食の歴史は、今から60年近く前にさかのぼります。

当時の給食費は、小学校39円、中学校45円でした。



2つの給食センターを廃止し「石狩市学校給食センター」を開設

2017年 (石狩市民図書館奥)

約5,200食提供

現在は、約4,750食提供

